

桐生自然観察の森におけるクマ対策

桐生自然観察の森では、クマだけでなくシカ、イノシシなどの野生動物との遭遇を避けるために、クマ鈴の貸し出しをしています。2025 年秋のクマ目撃情報増加に伴い、新たにクマよけの鐘を園内 5 か所に設置しました。なお、団体対応の際には、事前にクマよけの鐘を鳴らす、園内を歩いて点検をする等の対策を行っています。



クマよけの鐘、クマ鈴
設置場所位置図



クマよけの鐘



クマ鈴(ネイチャーセンター)



クマ鈴（入口）

桐生市の街中で目撃情報のあったツキノワグマは雑食性で、春は柔らかい若葉、夏はアリやハチなどの昆虫類、秋には果実やドングリ類を食べます。そして食べた種を糞として山のあちこちに運んでくれる「種子散布者」としての役割があります。観察の森では、クマの糞や爪痕のような痕跡を見ることはごくごく稀ですが、他にも様々な野生生物が生息する森に「お邪魔します」という気持ちで来園していただけたらと思います。